

決算議会 9月定例会

計画にそった予算編成を 検討会を開催せよ

平成22年9月定例会を9月13日から16日までの会期で開きました。今回は、平成22年度一般会計および特別会計補正予算案など、提出された18議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成21年度の一般会計および7つの特別会計を認定しましたが、税金等の滞納による収入未済額が依然として増加傾向にあることや、29年ぶりに交付団体となったことにより、今後の財政運営や経費削減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。

なお、一般質問では、5人の議員が、町の対応や考えを問いました。

遠藤智議員 第1回みかんロードレース大会の反省点を踏まえ、今後職員が一致団結して町民から喜ばれるロードレース大会にしていくためには、将来的なイメージを持ち、計画にそった予算編成をしていくべきではないですか。

省を考慮した予算編成に努めていきます。

渡辺久長議員 予算編成にあたっては、各課より出された資料をもとに優先順位や要望時期などを調整する全庁規模の検討会を開催すべきではないですか。

山田町長 今後この大会を町のPR拡大と地域振興につなげていくという基本理念にもとづきながら、実績や反



▲全国各地からランナーが参加した第1みかんロードレース大会

山田町長 今のところ全庁的な検討会は開催していませんが、予算査定の中で詳細な聞き取りや必要性について協議しています。

今後は今まで以上に打ち合わせを密にし、慎重な予算編成に努めていきます。

9月補正予算 2億9,176万円

9月定例会に提案された一般会計補正予算ならびに7つの特別会計補正予算は、一般会計は主に農産物加工施設整備事業にともなう委託費や工事費のほか、道路新設改良費の計上で、特別会計は主に小規模宅地開発事業費ほか、一般会計繰出金などの計上でした。

9月補正の結果

会計名	補正後の予算額	補正額
一般	37億 1,902万円	2億 1,673万円
国民健康保険特別	6億 1,720万円	3,108万円
土地開発事業特別	3,900万円	3,165万円
老人保健特別	43万円	12万円
介護保険事業特別	3億 9,746万円	1,024万円
後期高齢者医療特別	4,281万円	194万円

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

特産品の開発に大きな期待 農産物加工施設を整備

(補正予算額9,111万円)



～特産品の開発・販売が可能に～

町の農業は、稲作が中心で特産品の種類が限られているため、特産品開発の拠点施設を整備することにより、加工品の開発研究を共同で進め、特産品の開拓が可能となります。また、大豆、麦、そば等の生産量の拡大に寄与し、地場産業の振興と雇用機会の拡大を促し、地域の活性化がはかれます。

▲「企業組合ひろの」設立総会のような様子



▲親子わくわく教室のような様子

創意工夫をこらした分譲を

塩史子議員 大吹地区の宅地分譲は、町の活性化や人口増を事業目的としているので、子育て世代の若者たちに大きな期待が寄せられます。

全国的にも若い世代を対象に割引制度や補助制度など、いろいろな工夫をこらして分譲をしている自治体もあります。

子育て世代や若者たちには定住してもらえ

ような方策を考え、買いやすい分譲をすべきではないですか。

山田町長 宅地の分譲については、事業目的の達成に向け、いろいろな考えを持つて取り組まなければなりません。認識はしていますが、これまで町が分譲してきた地区との平等性を考慮しながら慎重に考えていきます。

平成22年広野町後期高齢者医療特別会計補正予算

反対 畑中 大子 議員 **10対1で可決** **賛成** 鈴木 紀昭 議員

後期高齢者医療制度それ自体を認められない。



一般会計補正予算との整合性をはかるべき。